

MOVO 新機能のご紹介  
S V F シリーズ  
リリースC／D (602／302)、リリースE／F

2008年3月16日  
サーボランド株式会社

以下はオプションによる対応を含みます。

1. 通信モニタ F R A・F F T 周波数解析ができました。  
M o v o N T, M o v o N T F
2. F R A 支援 ドライバ側でサイン波発生、計数、フーリエ積分を負担します。
3. ノッチフィルタ アナログチャネルに振り替えて挿入することができます。
4. アナログ指令 A P J 軌道付きアナログ指令位置モード ができました。
5. 力率検知 直流励磁にソフト引き上げタイプが加わりました。  
# 8 壱の桁 = 8 直流励磁検知・高イナーシャ用
6. 力率検知 シリアルエンコーダ使用時にも自動力率検知、ポールセンサ検知が使えるようになりました。
7. P W M モード オープンループ電圧出力です。
8. V E L モード ポールセンサフィードバック速度制御です。
9. W A C T ドライバ出力のモニタをします。(D, F 版専用)
10. シリアルエンコーダ 分解能遮断機能、上位桁マスク機能 (一部は既に利用可)
11. A N I モード タイプ追加 改良 2 相 (U/V) に加えて、2 元 (電気角/トルク)
12. 電流ピークリミット 実電流がピークを超えるとき、ソフトウェアでのリミット機能を追加。
13. インパルスタイプ ステップモード内にインパルス指令タイプを追加。
14. ノッチの自動起動 パラメータでブート時にフィルタが自動挿入されます。動的オンオフも可。
15. B S C 入力 データポートに全 2 重高速バイナリ通信ポートが追加されました。
16. S R Q モード B S C (バイナリ通信) 入力で S R Q (シリアル・トルク) モードを追加。
17. I P アドレス N W K ネットワークモデルで R S 2 3 2 C から I P アドレスの設定が可能。
18. アナログ指令 第 2 電子ギアで入力を 3 2 b まで増倍可能。(ただし、分解能は元通り)
19. ロール原点 シリアルエンコーダで、毎回転に原点検出するロール原点機能を追加。  
# 3 0 百の桁
20. トルクモード 速度リミットコマンドを追加、正負独立に設定可能。
21. F O R モード ハイブリッド 力制御  
実速度+力覚、または実加速度+力覚をフィードバック値とすることで、接触点の渡りをスムースに制御します。
22. センサレス制御 エンコーダやポールセンサを省略し、代わりにドライバ内部で A C モータの磁極位置を推定する機能を備えます。
23. 疑似アブソエンコーダ (ディスタンスコード)  
シリアルエンコーダ E n d a t <sup>R</sup> 2. 2 (ハイデンハイン社) 製でのディスタンスコードに対応しました。  
僅かな移動で絶対座標を検出し、インクリエンコーダの長い距離の原点出し負担を軽減します。  
各社非シリアルでのディスタンスコードについては今後対応する予定です。

以上